

# 日本雑草学会第 56 回大会プログラム

## 1. 会期：平成 29 年 4 月 14 日（金）評議員会，若手の会

4 月 15 日（土）一般講演・ポスター発表，ミニシンポジウム，  
ランチョンセミナー，総会，学会賞受賞者講演，懇親会  
4 月 16 日（日）一般講演・ポスター発表，ミニシンポジウム

## 2. 会場：

### 4 月 14 日（金）

評議員会・若手の会：ホテルメリージュ

（〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東 3-1-11 電話：0985-26-6666

<http://www.merieges.co.jp/> JR 宮崎駅より徒歩約 10 分)

### 4 月 15 日（土）～16 日（日）

一般講演・ポスター発表，ミニシンポジウム，総会等：

フェニックス・シーガイア・リゾート シーガイアコンベンションセンター

（〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山 電話：0985-21-1111（代表）

<http://mice.seagaia.co.jp/> JR 宮崎駅よりバス約 25 分)

## 3. 日程：

### 4 月 14 日（金）

13:00～17:00 評議員会 ホテルメリージュ 3 階 飛翔の間

17:30～20:00 若手の会 ホテルメリージュ 3 階 飛翔の間

### 4 月 15 日（土）

9:30～11:15 一般講演 A会場（天玉），B会場（天樹），C会場（天葉）

11:15～12:15 ミニシンポジウム 1 D会場（天瑞）

12:15～13:15 ランチョンセミナー（農薬工業会） B会場（天樹）

演者：小川安則（農薬工業会業務部長），清水力（農薬工業会運営委員）

演題：食料生産の重要性と農薬の役割

12:15～13:15 各種委員会 アイボリー，ミーティングルーム（2F）

13:30～14:30 ポスター発表（奇数番） ポスター会場（天蘭）

14:45～16:05 総会 D会場（天瑞）

16:05～16:35 学会賞授賞式 D会場（天瑞）

業績賞 受賞者：橘 雅明（農研機構 西日本農業研究センター）

業績名：寒冷地における水稲品種とタイヌビエとの競合関係の定量的評価に

#### 関する研究

奨励賞 受賞者：早川宗志（農研機構 中央農業研究センター）

業績名：外来および在来ススキの系統地理学のおよび分類学的研究

#### <論文賞>

雑草研究 受賞者：小荒井晃・服部育男・鈴木知之・住吉正・大段秀記・佐藤健次・  
加藤直樹・保田謙太郎

論文名：イネ発酵粗飼料のサイレージ発酵が主要水田雑草種子の死滅に  
及ぼす影響

WBM 受賞者：Shunji KUROKAWA, Makita HAJIKA, Tomoko SHIBUYA

論文名：Canopy height-to-row spacing ratio as a simple and practical onsite  
index to determine the time for terminating *Ipomoea coccinea*  
control in the Japanese soybean-growing systems

16:35～17:35 受賞者講演 D会場（天瑞）

業績賞 講演者：橘 雅明 座長：沖 陽子

奨励賞 講演者：早川宗志 座長：西田智子

18:00～20:00 懇親会 樹葉（シーガイアコンベンションセンター4F）

#### 4月16日（日）

8:30～ 9:30 APWSS2017 組織委員会 アイボリー

9:30～10:30 ポスター発表（偶数番） ポスター会場（天蘭）

10:45～12:15 一般講演 A会場（天玉）、B会場（天樹）、C会場（天葉）

12:15～13:15 各種委員会 アイボリー、ミーティングルーム（2F）

13:30～15:00 一般講演 A会場（天玉）、B会場（天樹）、C会場（天葉）

15:00～16:30 ミニシンポジウム2 A会場（天玉）

ミニシンポジウム3 C会場（天葉）

#### 4. ランションセミナー(会員外・無料)および昼食について

15日のランションセミナー（農薬工業会）参加希望者には、当日朝受付で弁当券を配布します（先着100名）。また、昼食は会場隣のシェラトン・グランデ・オーシャンリゾートにレストラン等がございますので、そちらをご利用下さい。

## 会場(一般講演・ポスター発表・総会・懇親会等)へのアクセス・交通手段について

### 1. 会場までの主な交通手段

会場は宮崎市の北東に位置します。会場案内図を参照下さい。

- ◆JR 宮崎駅より：バスで約 25 分 (510 円)、タクシーで約 15 分 (約 2,000 円)  
※大会両日 (4 月 15 日・16 日) の朝および夕刻に、学会参加者専用バス (無料) を運行します (事前申込者のみ。事前申込はずでに終了致しました)。
- ◆宮崎空港より：バスで約 30 分 (料金 850 円、時間にご注意下さい)  
タクシーで約 25 分 (料金 約 4,000 円)  
JR 宮崎空港駅 → (JR: 約 10 分, 350 円) → JR 宮崎駅 → 会場
- ◆高速道路 (宮崎 IC) より：一ツ葉有料道路利用で約 25 分

### 2. 学会参加者専用バス(無料)運行について(事前申込者のみ)

<4 月 15 日 (土) の朝・4 月 16 日 (日) の朝>

発車場所：宮崎駅東口バス停付近

発車時刻 (予定)：(4 月 15 日) 8:15, 8:30 (4 月 16 日) 8:30



<4 月 15 日 (土) 夜>

発車場所：会場 到着場所：宮崎駅

発車時刻 (予定)：懇親会終了後 (20:30 頃)

<4 月 16 日 (日) 午後>

発車場所：会場 到着場所：宮崎空港

発車時刻 (予定)：バスへの乗車人数が揃い次第、発車します。

### 3. 宮崎駅・宮崎空港からの利用について

4 月 15 日 (土)・4 月 16 日 (日) の両日は、宮崎駅 (西口)・宮崎空港から会場まで直接運行する路線バスがありますので、そちらもご利用下さい。

(バス停は、会場隣の「シェラトングランデ・オーシャンリゾート」にあります)

宮崎駅 (西口)		シェラトン® グランデ®		シェラトン® グランデ®		宮崎駅 (西口)
7:45	→	8:08		8:32	→	8:55
8:45	→	9:08		9:32	→	9:55
9:45	→	10:08		10:32	→	10:55
10:45	→	11:08		11:32	→	11:55
11:45	→	12:08		12:32	→	12:55
12:45	→	13:08		13:32	→	13:55
13:45	→	14:08		14:32	→	14:55
14:45	→	15:10		15:32	→	15:57
15:45	→	16:10		16:32	→	16:57
16:45	→	17:12		17:32	→	17:59
17:45	→	18:12		18:32	→	18:59
18:45	→	19:08		19:22	→	19:45
◆	→	20:08		◆	→	20:45
20:45	→	21:08		◆ : 4月16日(日)は運休		
21:45	→	22:08				

※料金 : 510 円

宮崎空港		シェラトン® グランデ®		シェラトン® グランデ®		宮崎空港
8:45	→	9:11		8:06	→	8:30
11:10	→	11:35		10:16	→	10:40
13:40	→	14:05		12:56	→	13:20
15:20	→	15:45		14:36	→	15:00
16:50	→	17:15		16:11	→	16:35
18:50	→	19:15		17:36	→	18:02

※料金 : 850 円

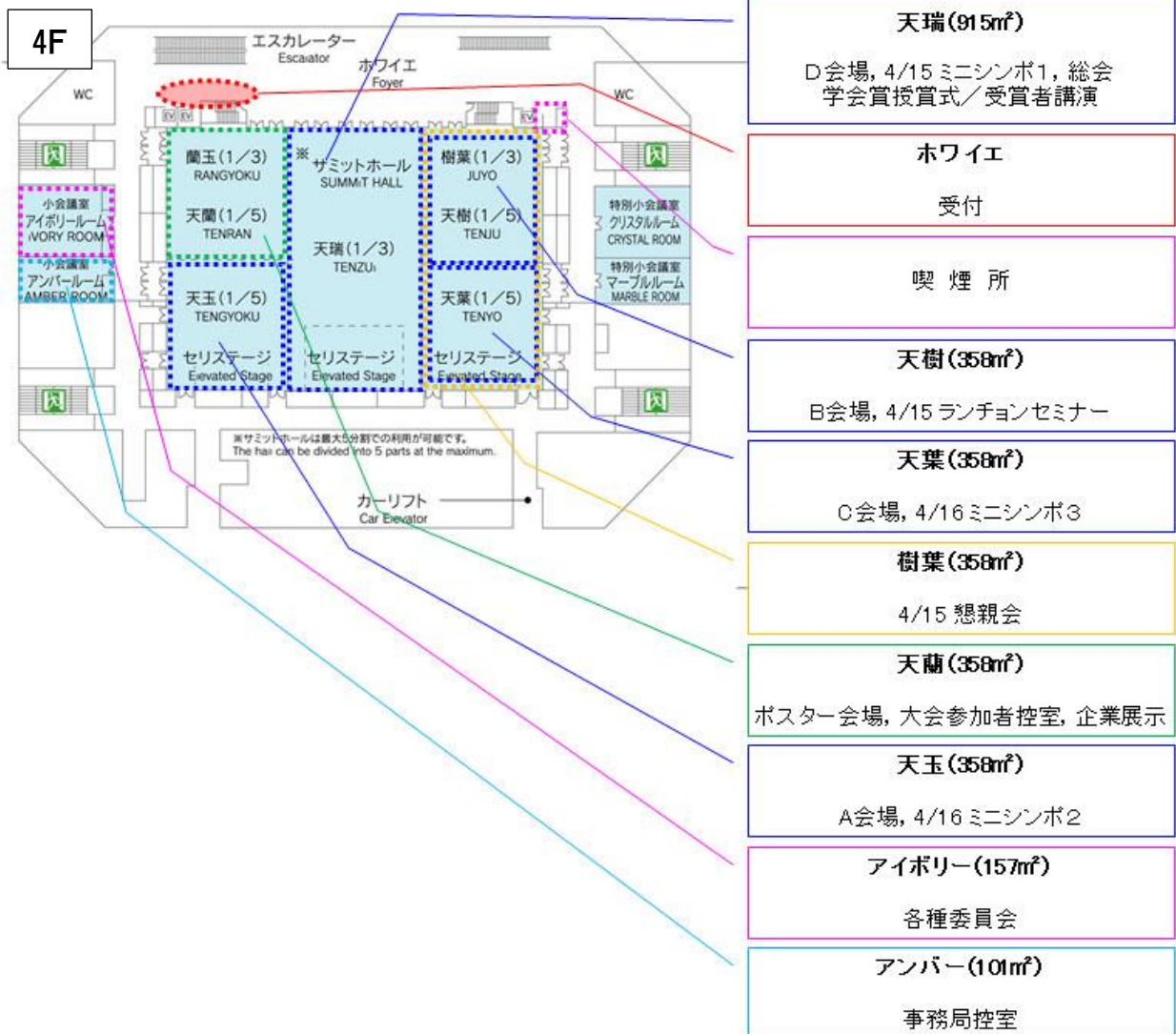
#### 4. 会場から宮崎空港への乗り合いタクシー利用について

大会2日目(4月16日)午後において、会場から宮崎空港への乗り合いタクシーをご準備いたします(料金:1,000円)。4月16日(日)12:00までに大会受付にお申し込み下さい。

# 会場案内図



# シーガイアコンベンションセンター／SEAGAIA CONVENTION CENTER



## 第56回大会プログラム(概要版)

4月15日(土)	時間	A会場 (天玉)	B会場 (天樹)	C会場 (天葉)	D会場 (天瑞)	ポスター会場 (天蘭)	
	8:30~	受 付					
	9:30~	一般講演 (7題)	一般講演 (7題)	一般講演 (7題)	閉 場	ポスター掲示	
	11:15~	閉 場			ミニシンポ1 みやぎきの外来生物	閉 場	ポスター公開
	12:15~	昼休み(1時間15分) ランチオンセミナー／各種委員会					
	13:30~	閉 場				コアタイム (奇数番)	
	14:30~	休 憩				閉 場	ポスター公開
	14:45~	閉 場			総 会		
	16:05~ 17:35 終了	閉 場			学会賞授賞式 受賞者講演		

4月16日(日)	時間	A会場 (天玉)	B会場 (天樹)	C会場 (天葉)	D会場 (天瑞)	ポスター会場 (天蘭)	
	8:30~	受 付 / APWSS委員会					
	9:30~	閉 場			閉 場	コアタイム (偶数番)	
	10:30~	休 憩					
	10:45~	一般講演 (6題)	一般講演 (6題)	一般講演 (6題)		ポスター公開	
	12:15~	昼休み(1時間15分) 各種委員会					
	13:30~	一般講演 (6題)	一般講演 (5題)	一般講演 (6題)		ポスター撤去	
	15:00~ 16:30 終了	ミニシンポ2 雑草における雑種形成 をめぐる諸問題 その5	閉 場	ミニシンポ3 雑草学における 技術士の薦め(2017)			

ミニシンポジウム・一般講演プログラム(詳細版)

※発表者が連名である場合には発表者に○を付しています。  
 ※講演番号の下に\*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象(若手による発表)です。

4月15日(土)									
8:30		受付							
A会場(天玉)			B会場(天樹)			C会場(天葉)			座長
9:30	1	新規除草剤シクロピリモレートに関する研究 -水稲用除草剤としての特性-	20	新規とうもろこし用除草剤トルピラレートフロアブルに関する研究(第2報)作物安全性に関する報告	38	刈取りと種間競合がチガヤ種内の遺伝的多様性に与える影響	田中 易(協友アグリ)	村岡 哲郎(植調協会研究所)	富永 達(京都大学農学研究所)
	*	○吉野康佑・田丸洋・今村信子・佐伯聡一・安藤卓也・三浦孝子・江田貞文・門谷淳二(三井化学アグロ(株))	*	○菅沼丈人・小林庸輔・佐竹良和・内藤優・菊川弘司・三谷滋(石原産業株式会社)	*	○東建介(福井県立大)・吉岡俊人(福井県立大)・浅井元朗(農研機構)・水口亜樹(福井県立大)			
9:45	2	新規除草剤シクロピリモレートに関する研究 -シクロピリモレート・ピラゾレート混合剤の生物効果-	21	フルアジホップ-P-ブチル・リニユロン顆粒水和剤のニンジン作における最適な使用法	39	機械学習を利用した空撮画像処理によるチガヤ群落の検出			
	*	○田丸洋・吉野康佑・今村信子・佐伯聡一・安藤卓也・三浦孝子・江田貞文・門谷淳二(三井化学アグロ(株))	*	○齊藤良文・寺田隆志・岡本啓之・三谷滋(石原産業株式会社)	*	○渡邊修(信大農)・東建介・水口亜樹(福井県立大)			
10:00	3	新規水稲用除草剤シクロピリモレート・テフリルトリオン混合剤の特性	22	福井県池田町におけるクサネムとアメリカセンダングサの3年間の発生分布調査にもとづく発生要因の解析	40	雑草管理技術の研究 マイクロ波を用いたつる植物の選択的除草の効果検討	吉野 康佑(三井化学アグロ)	渡邊 寛明(農研機構 東北農研セ)	浅井 元朗(農研機構 東北農研セ)
	*	○池町健太1・北原克也1・古山千恵1・眞鍋陽平1・青山良一1・今村信子2・田丸洋2・吉野康佑2・門谷淳二2(1JA全農, 2三井化学アグロ(株))	*	○水口亜樹・東建介(福井県立大)	*	○日原健・鈴木拓也・大島久慶・笹本哲朗・余平哲也・川口敦生(リコー)			
10:15	4	新規水稲用除草剤モリネート・ピラクロニル・テフリルトリオン混合剤に関する研究(第1報) -3成分の相互作用-	23	絶滅危惧I B類アゼオトギリの水田畦集団と河川敷集団の遺伝的構造と環境応答性	41	代かき前の湛水期間が水生ミズミズ類排泄物の堆積程度、雑草発生および水稲収量に及ぼす影響	吉野 康佑(三井化学アグロ)	渡邊 寛明(農研機構 東北農研セ)	浅井 元朗(農研機構 東北農研セ)
	*	○内田孝行・西田直人・河原蒔子・野村博・牛口良夫(協友アグリ)	*	○吉岡俊人・古田誉裕・岸駿佑・水口亜樹(福井県大)・赤井賢成(沖縄美ら島財団)・藤晋一(秋田県大)・中浜直之(京大院農)・蓮浦義之(福井県坂井高)・堀内洋二(三重県相可高)・古市貴之(三重県久居農林高)・石井正人(建設環境研究所)・松島宏(三重河川国道事務所)	*	○安達康弘・月森弘・角菜津子・小塚雅弘・道上伸宏・山本朗(島根農技センター)			
10:30	5	新規水稲用除草剤モリネート・ピラクロニル・テフリルトリオン混合剤に関する研究(第2報) -移植水稲での作用特性-	24	水稲収穫後の圃場への石灰窒素処理が雑草イネの出芽に及ぼす影響	42	水稲機械除草後の発生雑草の影響を軽減する追肥の効果			
	*	○古山千恵・青山良一(JA全農)・西田直人・内田孝行・松本雅好・牛口良夫(協友アグリ)	*	○青木政晴・酒井長雄・原田良太(長野県農業試験場)	*	○山本朗・安達泰弘・月森弘(島根農技センター)			
10:45	6	新規水稲除草剤トリアフェモンに関する研究(第4報) -テフリルトリオン混合剤のキシウスズメノヒエ防除効果-	25	雑草イネの起源と集団構造1: 国内における遺伝的構造の概要	43	踏圧処理が畦畔雑草植生に及ぼす影響 -踏圧式抑草ロボットの開発に向けて-	吉野 康佑(三井化学アグロ)	渡邊 寛明(農研機構 東北農研セ)	浅井 元朗(農研機構 東北農研セ)
	*	○山岡達也・松浦梨可・岡林利奈・早川秀則・杉浦健司(バイエル クロップサイエンス(株))	*	○今泉智通1・江花薫子1・赤坂舞子1・出口亜由美2・永野惇2・小林浩幸1(1農研機構・2龍谷大学)	*	○稲垣栄洋・稲垣舜也(静岡大・農)・加藤百合子(株エムスクエア・ラボ)・河合眞(株スズキ)・砂川利広(株農健)			
11:00	7	新規水稲用除草剤メタミホップ乳剤の作用特性	26	ドローン空撮画像処理による雑草イネの効率的検出法の検討	44	水稲後作麦圃における「事前浅耕+不耕起播種」のスズメノテッポウの残草低減効果	吉野 康佑(三井化学アグロ)	渡邊 寛明(農研機構 東北農研セ)	浅井 元朗(農研機構 東北農研セ)
	*	○白水健太郎・川西直樹・張強・坂本卓也・河内真一郎(科研製薬(株))	*	○渡邊修(信大農)・青木政晴(長野県農試)・今泉智通・内野彰(中央農研)	*	○大野礼成・井上拓治(福岡農林総試・筑後)			
11:15	D会場(天瑞)								
	ミニシンポジウム1								
	みやざきの外来生物								
	オーガナイザー: 西脇亜也(宮崎大)								
	講演: 齋藤政美(宮崎県総合博)「宮崎における外来生物の侵入実態について」								
12:15	昼休み(1時間15分), ランチョンセミナー(B会場 天樹), 各種委員会								
13:30	ポスター会場(天蘭) ポスター発表(奇数番コアタイム 1時間)								
14:30	休憩(15分)								
14:45	D会場(天瑞) 総会								
16:05	D会場(天瑞) 学会賞授賞式, 受賞者講演								
17:35	1日目終了								



4月16日(日) 午前									
8:30	受付								
9:30	ポスター会場(天蘭) ポスター発表(偶数番コアタイム 1時間)								
10:30	休憩・移動								
	A会場(天玉)		座長	B会場(天樹)		座長	C会場(天葉)		座長
10:45	8	北海道におけるピラクロニルおよびその混合剤のミズアオイに対する除草効果 ○徐錫元・西原良一・浜谷雅司・松本雅好・富田享博(協友アグリ)	青山 良一 (JA全農)	27	特定外来生物アレチウリに対する植物成長調整剤フルプリミドールの生育抑制効果 ○津田その子・安藤隆寛(中部電力(株)エネルギー応用研究所)	水口 亜樹 (福井県立大)	45	農地の除染時期および除染後の雑草管理が雑草植生推移に与える影響 ○好野奈美子・浅井元朗(農研機構東北農研)	吉岡 俊人 (福井県立大)
11:00	9	短辺が100mの1ha規模の大区画水田におけるピラクロニル含有ジャンボ剤の省力散布 ○徐錫元・工藤航・斎藤昭造・西堀颯・西原良一・浜谷雅司・富田享博・高橋仁久・松田繁(協友アグリ)		28*	特定外来生物オオハンゴンソウに対するグリホサートカリウム塩およびメコプロップPカリウム塩の影響 津田その子・○安藤隆寛(中部電力(株)エネルギー応用研究所)		46*	キク青枯病菌の自然宿主となりえるテリミノイヌホオズキとヒメムカシヨモギ ○安次富厚・大城篤・山城麻希(沖縄農研セ)	
11:15	10	ピラクロニル含有フロアブル剤の大区画水田での水口施用と施用時の湛水深について ○徐錫元・西原良一・浜谷雅司・富田享博(協友アグリ)		29	日本におけるグリホサート抵抗性雑草の出現とそれらの抵抗性機構 倉田康平・永井絵理・下野嘉子・岩上哲史・○富永達(京都大農)		47	クログワイに除草活性をもつHyphomycetes糸状菌の性状 ○山口健一(南九州大 環境)・宮崎博之(南九州大 院)・藏田翔(南九州大 院)・中村匡貴(南九州大 環境)	
11:30	11*	湛水直播栽培におけるピラゾキシフェン・ベンゾピクロン混合剤の性能—処理後湛水期間による除草効果への影響— ○宮下めぐみ1・井櫻賢二1・三谷滋1・山崎明彦2・関野景介2(1石原産業株式会社、2株式会社エス・ディー・エス バイオテック)	白水 健太郎 (科研製薬)	30	沖縄県のサトウキビ畑における雑草発生の実態調査 ○比屋根真一・伊禮信・下地格・仲宗根弘晃・出花幸之介・高江洲賢文(沖縄県農研セ)	内野 彰 (農研機構 中央農研セ)	48*	食品および農業残渣となる野菜・果物類の雑草抑制効果の評価 ○岩本百合香・西川浩二・稲垣栄洋(静岡大・農)	藤井 義晴 (東京農工大)
11:45	12*	4-HPPD阻害型除草剤による新規需要米由来の漏生抑制制御 ○山崎明彦(株式会社エス・ディー・エス バイオテック)、村田和優(富山県・農林水産総合技術センター)、黒木慎(農研機構・次世代作物開発研究センター)、関野景介(株式会社エス・ディー・エス バイオテック)、山田祐司(株式会社エス・ディー・エス バイオテック)、前田英郎(農研機構・中央農業研究センター)、川田元滋(農研機構・生物機能利用研究部門)、大島正弘(農研機構・生物機能利用研究部門)、戸澤謙(埼玉大学・大学院理工学研究科)、加藤浩(農研機構・次世代作物開発研究センター)		31	沖縄県のサトウキビ畑におけるグルホシネート液剤をもちいた雑草防除 ○比屋根真一・伊禮信・下地格・仲宗根弘晃・高江洲賢文(沖縄県農研セ)・入嵩西貢(第一農薬(株))		49*	ヒカゲヘゴの葉に含まれる植物生長抑制物質の単離及び同定 ○井田詞之(香川大・院・農)・照屋俊明(琉球大・教育)・岩崎有紘(慶應義塾大・理工)・末永聖武(慶應義塾大・理工)・加藤尚(香川大・院・農)	
12:00	13*	福岡県内の2016年水稲作における除草剤田植同時処理による薬害事例 ○古賀巧樹・中下真吾・山口晃(植調福岡試験地)・大隈光善(植調九州支部)		32	秋田県の大豆作における帰化アサガオ類( <i>Ipomoea</i> spp.)とアレチウリ( <i>Sicyos angulatus</i> L.)の発生状況と防除体系 ○三浦恒子・加藤雅也(秋田農試)・片野英樹(北秋田地域振興局)・薄井雄太(秋田農試)		50*	Evaluation of Indian heliotrope ( <i>Heliotropium indicum</i> L.) on the growth of six test plant species ○Chaipon Sirinapa and Hisashi Kato-Noguchi (Kagawa Univ.)	
12:15	昼休み(1時間15分) 各種委員会								

4月16日(日) 午後		A会場(天玉)		B会場(天樹)		C会場(天葉)	
		座長		座長		座長	
13:30	14	(S)-(+)-カルボンのシロイヌナズナ幼植物体での生育抑制作用における活性酸素およびキシログルカンエンドトランスグルコシダーゼ/ヒドロラーゼの関与の検討 斎藤龍平・○春原由香里・平松優季(筑波大)・岩上哲史(京都大)・松本宏(筑波大)	山岡 達也(バイエルクロップサイエンス)	33	ニシキアオイによるダイズ汚損粒発生リスク ○黒川俊二・澁谷知子(農研機構中央農研)	51	地上部の刈取りが被覆植物のアレロパシー活性に及ぼす影響 ○堀田周平・藤井義晴(東京農工大)
13:45	15	* Investigation of clomazone resistance mechanism in multiple-herbicide resistant <i>Echinochloa phylllopogon</i> ○Feng Guo(University of Tsukuba), Satoshi Iwakami(Kyoto University), Kiichi Nagai(University of Tsukuba), Akira Uchino(Central Region Agricultural Research Center), Yukari Sunohara(University of Tsukuba), Hiroshi Matsumoto(University of Tsukuba)		34	* 農家水田圃場および畦畔におけるマルバアメリカアサガオ埋土種子の動態 ○井原希・小林浩幸(農研機構中央農業研究センター)	52	* 絶滅危惧 I B類アゼオトギリのアレロパシー活性の評価-畦畔の雑草管理のための被覆植物実用化と保全に向けて- ○加藤太郎(東京農工大)・吉岡俊人(福井県立大)・藤井義晴(東京農工大)
14:00	16	* Investigation of a role of $\beta$ -cyanoalanine synthase in quinclorac resistance in multiple-herbicide resistant <i>Echinochloa phylllopogon</i> ○Pattarasuda CHAYAPAKDEE (University of Tsukuba), Satoshi IWAKAMI (Kyoto University), Akira UCHINO (Central Region Agricultural Research Center), Yukari SUNOHARA, Hiroshi MATSUMOTO (University of Tsukuba)		35	* 北部九州の大豆作における主要雑草防除のための除草剤一発処理技術の試み(第2報) ○中下真吾・古賀巧樹・山口晃(植調福岡試験地)・大隈光善(植調九州支部)	53	* Ethnobotanical survey as a benchmark for screening for allelopathic species among medicinal plants in Ghana APPIAH Kwame Sarpong1, MARDANI Korran Hossein1, KPABITEY Sylvia2, AMOATEY Christiana Adukwai2, OIKAWA Yosei1 and FUJII Yoshiharu (1Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, 2Univ. Ghana)
14:15	17	SU抵抗性イヌホタルイにおける変異ALS遺伝子の累積効果 定由直(住友化学株式会社)	大野 修二(クミアイ化学工業)	36	* 大分県における大豆作の難防除雑草の発生実態と経営に及ぼす影響 ○河野礼紀・柿原千代文・近乗偉夫(大分農林水産研指水田)	54	Screening of Kenyan medicinal plants for allelopathic activity by bioassay ○Yoshiharu FUJII1, Martha Kemunto NYAMWEYA1, and John M. OCHORA2 (1Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, 2Jomo Kenyatta Univ. of Agriculture and Technology)
14:30	18	* SU剤抵抗性のコナギおよびミズアオイのイマズスルフロンに対する薬量応答 ○太田健介・藤野美海・定由直(住友化学株式会社)		37	カロライナツクサの出芽動態および発消長 ○松尾光弘1・酒井泰良1・栗久周史1・河野礼紀2(1宮崎大農, 2大分農林水産研指)	55	Screening of allelopathic plants in Sudan and isolation of allelochemicals from Henna ( <i>Lawsonia inermis</i> ) and Baobab ( <i>Adansonia digitata</i> ) ○Yoshiharu FUJII1 and Hala Sadalla Maliek ELMADANI2 (1Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, 2Ministry of Agriculture, Sudan)
14:45	19	除草剤施用下で残存したイヌホタルイの花茎に出現した「2本目の苞葉」 ○森田弘彦1)・有本裕悟2)・稲垣貴之1)・鈴木宏一2) (1:日植調研究所, 2:日産化学工業)		閉場		56	ヘアリーベッチと近縁種クサフジの関東平野河川敷における分布調査-無人飛行体による植生調査とRAPD法による識別- ○藤井義晴・網中麻子・和佐野直也・Mohammad Mardani・斎藤隆文(東京農工大)
15:00	ミニシンポジウム2 雑草における雑種形成をめぐる諸課題その5 オーガナイザー: 富永 達(京都大)  講演: 芝池博幸(農研機構 農業環境変動研究センター)「学名から考える外来性タンポポ種群( <i>Taraxacum officinale</i> agg.)の侵入・定着・交雑」				ミニシンポジウム3 雑草学における技術士の薦め(2017)  オーガナイザー: 内野 彰(農研機構中央農研)  講演1: 浅井元朗(農研機構東北農研)「技術士(農業部門・植物保護)と雑草防除」 講演2: 黒木修一(宮崎県総農試)「技術士(農業部門・植物保護)の資格と業務への活用」		
16:30	2日目終了						

加藤 尚(香川大)

森本 正則(近畿大)

ポスター発表 演題・発表者(説明者)一覧

※発表者(説明者)が連名である場合は、発表者に○を付しています。

※ポスター番号の下に\*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象(若手による発表)です。

奇数番号コアタイム 4月15日(土) 13:30~14:30		偶数番号コアタイム 4月16日(日) 9:30~10:30	
P1	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン混合剤を用いた水田難防除雑草の防除 第2報 ミズアオイに対する除草効果 ○村井政彦・宮本恭輔・平林孝之・熊田秀治(日本農業株式会社)	P2 *	水稲除草剤のキシウスズメノヒエに対する除草効果の評価法に関する検討 山岡達也・○松浦梨可・早川秀則・杉浦健司(バイエル クロップサイエンス(株))
P3	所定の大きさのアゼガヤを得るための栽培法とアゼガヤに対するシハロホップチル剤の効果 ○須藤健一・赤澤昌弘(日本植物調節剤研究協会)	P4 *	コナギおよびミズアオイにおけるALS遺伝子の単離およびペンスルフロメチル抵抗性機構の解析 ○岩上哲史(京都大)・内野彰(中央農研)・小澤友理子(京都大・日本農業)・富永達(京都大)・汪光熙
P5 *	国内における雑草イネの発生状況 -2016年の調査事例- 今泉智通(農研機構)	P6	フルチアセットメチル乳剤の大豆に対する初期葉害の品種間差異 川名義明(東北農業研究センター)
P7	フルチアセットメチル乳剤の初期葉害のダイズ品種間差と広葉雑草14種に対する効果の種間差 ○澁谷知子(農研機構中央農研)・黒川俊二(農研機構中央農研)	P8 *	圃場周辺におけるマルバルコウ防除—ビスピリバックナトリウム塩液剤の有効性— ○井原希・黒川俊二・澁谷知子・小林浩幸(農研機構中央農業研究センター)
P9 *	福井県内におけるアレチウリの分布とリスクマップに基づく対策優先地域の検討 ○大平稚菜(福井県立大学)・大澤剛士(農環研)・黒川俊二(中央農研)・水口亜樹(福井県立大学)	P10 *	新規とうもろこし用除草剤トルピラレートフロアブルに関する研究(第3報)除草効果変動に関する報告 ○小林庸輔・菅沼丈人・佐竹良和・内藤優・菊川弘司・三谷滋(石原産業株式会社)
P11	各種畑雑草に対する土壌処理剤の除草効果は草種間の系統的な類似性を反映するか? ○穂坂尚美・村岡哲郎・高橋宏和(日本植物調節剤研究協会研究所)	P12 *	$\gamma$ -テルピネンと $\beta$ -カリオフィレンのレタスやトウモロコシ幼植物体での生育促進効果の比較 ○蝦名渉平・春原由香里・竹内優奈(筑波大)・岩上哲史(京都大)・松本宏(筑波大)
P13 *	山岳環境に侵入したオオバコの形態特性と遺伝子解析 ○藤巻慎司・渡邊 修(信大農)	P14 *	水田雑草における無性芽(貫生化)とその生態的意義 ○早川宗志(中央農研)・内野彰(中央農研)
P15	マルバルコウ・マメアサガオ種子の発芽に対する種子保存状態の影響 ○石岡 巖・橋 雅明(西日本農研)	P16	クロタラリアの関東地域における自生化に関与する開花結実性および結実種子の休眠・発芽特性 ○中谷敬子(中央農業研究センター)・鬼頭誠(琉球大学)
P17 *	ハクサンオオバコとオオバコの雑種形成の要因4.ハクサンオオバコとオオバコの開花期の重複に及ぼす気温の影響 ○佐野沙樹(福井県自然環境課)・中山祐一郎(大阪府立大学)・野上達也(石川県白山自然保護センター)・柳生敦志(石川県立金沢商業高等学校)	P18	児島湖人工干潟における植生管理の粗放化が植生遷移に与える影響 ○中嶋佳貴・沖陽子・久保尚弥(岡山大)・環境生命科学研究所
P19 *	回転羽根のスキッドを利用した水田用株間除草機構の改良 ○寺井普幸・庄司浩一・川村恒夫・窪田陽介(神戸大学)	P20 *	防草シートの防草効果に関する研究 ○野口和嵩・金泥秀紀(七王工業株式会社)・増田拓朗・守屋均(香川大学)・大津洋暁・甲斐崇(株式会社四電技術コンサルタント)
P21 *	土壌酸性化によるギンネムの生育抑制効果 ○徳丸慶太郎(榊南西環境研究所)・諏訪竜一(琉球大学農学部)・大嶺匡史・大城政人(榊南西環境研究所)	P22	スギナ根系に含まれる放射性セシウムの垂直分布 ○好野奈美子・松波寿弥・高橋義彦(農研機構東北農研)
P23	ギンギン類を摂食する昆虫コガタリハムシの成育期および休眠期における生態的特性 ○露崎浩・後藤大季・小野未来・阿部誠(秋田県立大)	P24 *	ヤギを利用した大規模太陽光発電所における生物除草の効果 山口健一(南九州大 環境)・井本圭亮(南九州大 環境)・井上瞳(南九州大 院)・○藏田翔(南九州大 院)・宮廻京平(南九州大 環境)
P25 *	在来緑化植物ヨモギの外国産緑化個体と在来個体間の形態および遺伝構造の比較 ○我妻総(京都大学農学研究科)・下野嘉子(京都大学農学研究科)・今西純一(京都大学農学研究科)・陶山佳久(東北大学農学研究科)・満行知花(東北大学農学研究科)・綱本良啓(東北大学農学研究科)・富永達(京都大学農学研究科)	P26 *	福井県において警戒すべき外来植物種の選定 ○新野紘平・水口亜樹(福井県立大学)・佐野沙樹(福井県自然環境課)

P27 *	輸入穀物に混入している雑草種子の組成と穀物輸入港における定着状況との関係 ○西健志・下野嘉子・富永達(京都大農)
P29	タイワンツバメシジミの食草であるシバハギの種子繁殖に関する研究 ○西脇亜也・安永真菜(宮大・農)・小松孝寛(宮崎昆虫同好会)
P31	茶園雑草のカテキン・カフェイン感受性の種内変異 ○稲垣栄洋・津司 将(静岡大・農)
P33 *	Utilization of UAV aerial images for Plant Discrimination: detection and mapping of hairy vetch ○Mohammad MARDANI, Takafumi SAITO, Hossein MARDANI, Mako AMINAKA and Yoshiharu FUJII (Tokyo University of Agriculture and Technology)
P35 *	イヌビエの葉茎に含まれるアレロパシー物質の探索 ○田中花奈・加藤尚(香川大・農)
P37 *	ホトケノザのメタノール抽出物のアレロパシー活性 ○坂本千都・鈴木将彦・加藤尚(香川大・農)
P39 *	Allelopathic activity in the seed extracts of <i>Swietenia mahagoni</i> ○Krishna Rany Das and Hisashi Kato-Noguchi (Kagawa Univ.)

P28 *	セイタカアワダチソウ鴨首型の食害状況と競合力 ○有馬聡・上山知剛・下野嘉子・細川宗孝・富永達(京都大農)
P30	シルビアシジミ保全を目的とした除草時期変更による外来雑草の制御 ○西脇亜也・原田一輝(宮大・農)・小松孝寛(宮崎昆虫同好会)
P32 *	ケイヒエキス抽出残渣マルチによる雑草防除 ○小山光貴1・森本正則1・堀元栄枝2・松田一彦1 (1近大農、2京都工繊大)
P34 *	Plant Growth Inhibitory Activity of Agaritine Monohydrate, L- Cystathionine and <i>Pleurotus ostreatus</i> Ethanol Extract ○Asma OSIVAND1, Hiroshi ARAYA2, Yoshiharu FUJII1 (1Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, 2Meiji Univ.)
P36 *	侵略的植物 <i>Asystasia gangetica</i> 抽出物のアレロパシー活性及びその原因物質 ○鈴木将彦1,2・岩崎有紘3・末永聖武3・M.A. Chozin4・加藤尚1,2 (1香川大・農、2愛媛大連合・農、3慶應大・理工、4ボゴール農科大)
P38 *	Allelopathic activity of <i>Eleocharis atropurpurea</i> (Retz.) on the growth of six test plant species ○Farhana Zaman and Hisashi Kato-Noguchi (Kagawa Univ.)